

# 携帯用地絡検出器

MLD-500

取扱説明書



**ミドリ安全株式会社**

〒143-0025

東京都大田区

南馬込2-29-1 3F

TEL: (03) 5742-7211

FAX: (03) 5742-7214

# 目 次

1. 概要	1
2. 仕様	
2-1 一般仕様	2
2-2 本体仕様	2
2-3 クランプ式変流器仕様	3
2-4 付属品	3
3. 各部の名称と機能	4～5
3-1 図 正面パネル図	6
3-2 図 クランプ式変流器外観図	7
4. 取扱方法	
4-1 電流の交換方法	8
4-2 検出器のテスト	8
4-3 表示ランプの確認	8
4-4 警報の解除	8
4-5 電池電圧チェック	9
4-6 取扱上の注意	9
5. 品質保証・サービス	10
検査合格証	

## 1. 概要

集合型地絡検出器（MLD-500）は、基本検出器が5回路収納された本体と、外部磁界の影響の少ないクランプ式変流器（CT-4030）から構成される集合型高感度地絡検出器です。

本器は、複数電路の地絡を同時に連続監視することができますので、地絡電路の発見が容易となります。

また、本器は過去に発した地絡の記憶回路を有していますので、短時間地絡の発見も可能です。

基本検出回路5回路のうち、1回路には記録計用出力端子がありますので、漏れ電流の連続監視が可能です。

本器は停電時のバックアップとして乾電池を内蔵していますので、電源が停電しても電路の監視は継続します。

## 2. 仕様

### 2-1 一般仕様

#### 2-1-1 電源

○AC電源：AC100V±10%

○バックアップ電源：乾電池SUM2\*4

6V（約5H）連続使用

2-1-2 使用温度範囲：-10～50℃（RH 90%以下）

2-1-3 最高使用回路電圧：AC600V以下

2-1-4 絶縁抵抗：ACライン～ケース間をDC500Vメガーで測定しその絶縁抵抗が50MΩ以上であること。

2-1-5 耐電圧：ACライン～ケース間にAC1000Vを1分間印加し異常の無い事。

### 2-2 本体仕様

2-2-1 測定回路数：5回路

2-2-2 警報感度：15/30/100mA（3レンジ切換）

2-2-3 警報精度：15mAレンジ±10%  
30/100mAレンジ±5%

2-2-4 記録計用出力：1回路  
漏れ電流0～100mAに対して  
→0～100mV（DC）

2-2-5 記録計用出力精度：フルスケールに対して  
±5%以内

2-2-6 外形寸法：130\*180\*100mm

2-2-7 重量：本体 約2kg  
キャリングケース 約1.5kg

2-3 クランプ式変流器仕様

2-3-1 零相変流器：CT-4030DX (ミドリ安全製)

2-3-2 外形寸法：85\*185\*35mm

2-3-3 重量：約400g

2-4 付属品

2-4-1 電源コード：1本

2-4-2 クランプ式変流器：5個

2-4-3 キャリングケース：1個

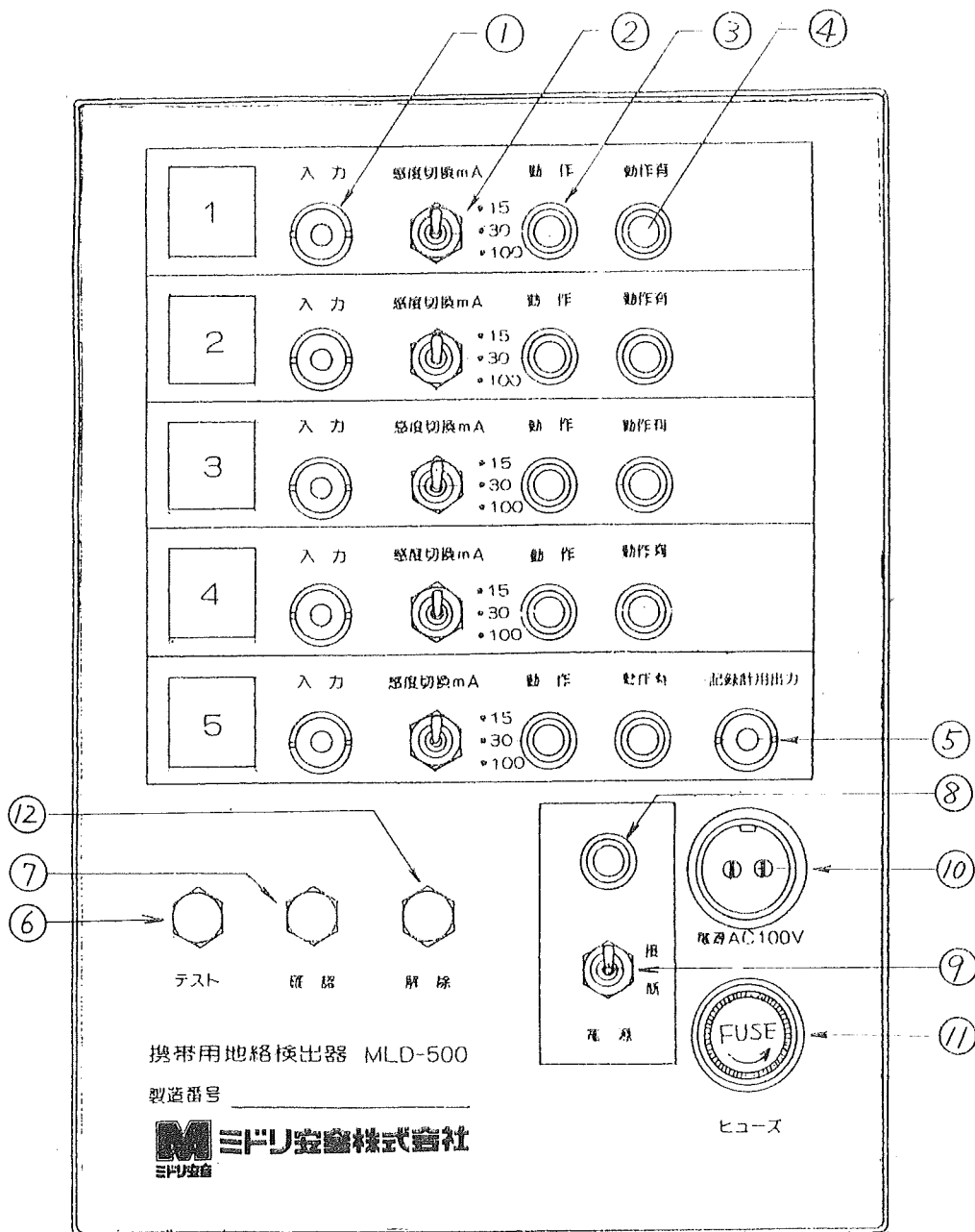
2-4-4 取扱説明書：1部

### 3. 各部の名称と機能

- ①「入力端子」：クランプ式変流器（CT-4030DX）接続用のジャックです。
- ②「感度切換」スイッチ：警報感度を設定するためのスイッチで15mA、30mA、100mAの3レンジが設定可能です。
- ③「動作」ランプ：漏れ電流が警報設定値をこえている間連続点灯します。
- ④「動作有」ランプ：漏れ電流が警報設定値をこえたことを表示します。
- ⑤「記録計用出力」端子：記録計用出力端子で、漏れ電流の連続記録ができます。  
漏れ電流0～100mAに対して0～100mVの直流電圧出力されます。
- ⑥「テスト」スイッチ：テストは電池電源では出来ません。このスイッチを押すと5回路すべてに漏れ電流と等価な警報信号が入力されます。「テスト」スイッチが押されている間「動作有」ランプが点灯します。検出器を使用する前に必ずテストを行い動作を確認して下さい。
- ⑦「確認」スイッチ：電池使用時のみ使います。「動作」ランプ、「動作有」ランプの点灯確認とバッテリーチェックを兼用しています。
- ⑧「電源」ランプ：検出器の電源が「接」のとき点灯します。但し、電池動作の場合は、「確認」スイッチを押すと点灯します。
- ⑨「電源」スイッチ：検出器を使用するとき「接」にしてください。
- ⑩「電源」入力コネクタ：付属の電源コード接続のためのコネクタです。

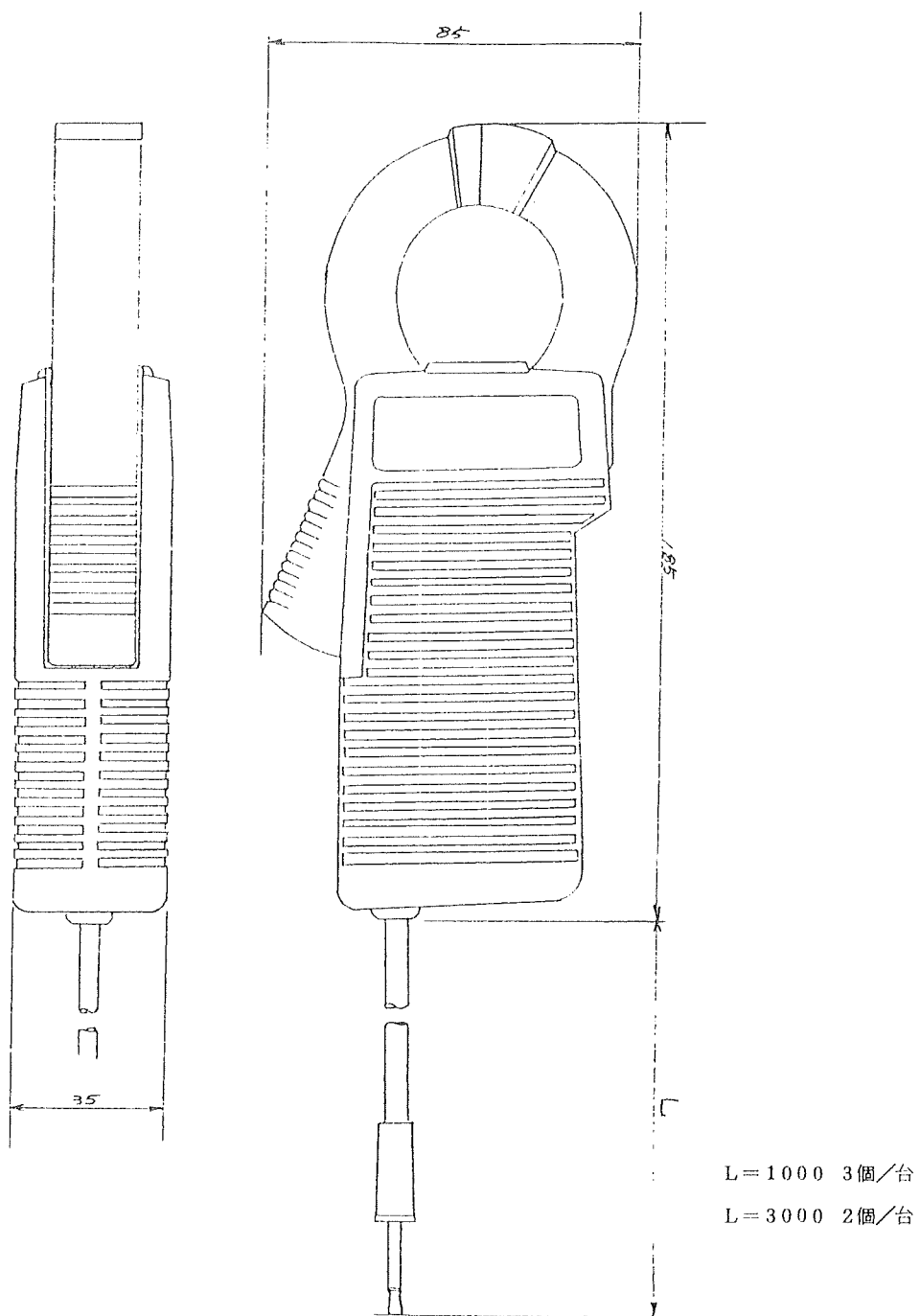
- ⑪ヒューズホルダ：適合ヒューズはガラス管ヒューズ125V、  
0.5A (L=30mm) です。
- ⑫「解除」スイッチ：「動作有」ランプの点灯を解除する場合押  
します。

正面パネル図





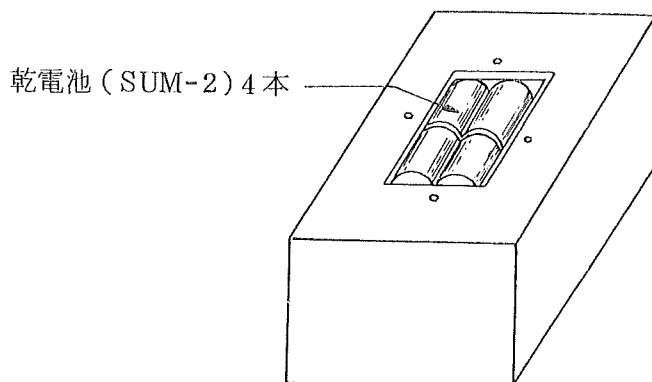
クランプ式変流器外観図



3・2 図

## 4. 取扱方法

### 4-1 電池の交換方法



- ①本体をキャリングケースより取り出し、ケース底の電池カバーの4本のネジを取り、電池カバーをはずします。
- ②古い電池を取り出して、新しい電池と交換します。交換の際、電池の極性には充分注意して下さい。

### 4-2 検出器のテスト

「テスト」スイッチを押して検出器が正常に動作することを確認してから使用して下さい。本器のテストは商用電源で行って下さい。

### 4-3 表示ランプの確認

商用電源使用時は、「動作」ランプ、「動作有」ランプが連続点灯します。電池動作時は「確認」スイッチを押して各々の表示を確認して下さい。

### 4-4 警報の解除

「動作有」ランプの点灯を解除する場合は「解除」スイッチを押します。

#### 4-5 電池電圧チェック

電池電圧のチェックは、「確認」スイッチを押します。電池容量が充分ある場合は、「電源」ランプが点灯します。電池容量が低下していると「電源」ランプが点灯しません。この場合は4-1電池の交換に従って、新しい電池と交換して下さい。

#### 4-6 取扱上の注意

電源スイッチを「接」にした時、「動作有」ランプが点灯する事があります。この場合は、「解除」スイッチで消灯して下さい。